

学校運営協議会 議事録

校名	府立 東淀川 高等学校
校長名	森瀬 康之

開催日時	令和 6年 10月 16日 (水) 14 : 30 ~ 17 : 00
開催場所	大阪府立東淀川高等学校 会議室 及び各教室での授業参観
出席者(委員)	松宮 新吾 委員長 濱野 祐美子 委員 小田 浩伸 委員 濱名 猛志 委員 大政 和彦 委員 松井久仁恵 委員
出席者(学校)	森瀬校長 坪内教頭 神辺首席・生徒指導部長 尾崎教務部長長谷川 進路部長 渡辺保健部長 寺西情報部長 田淵首席・総務部長 大見生徒会主任 宮前3学年主任 塩田2学年主任 安岡1学年主任
傍聴者	なし
協議資料	各分掌・学年からの重点目標設定シート
備考	

議題等(次第順)

- 1 授業参観の感想交流
- 2 各分掌・学年等の令和6年度目標について 教務部（デジタル採点・返却、授業方法の共有）、進路指導部（新調査書（3観点）、看護医療コース中心にシラバス検討）、生徒指導部・生徒会（遅刻指導・2週間に1回実施、くろーばぁ生徒のダンス・日本での暮らしをスピーチ）、保健部（薬物乱用防止教育、安全点検、PTAと共催救急法講習会、防災教育）、総務部（携帯メール、ブログetcの利用、70周年記念事業）、3学年（進路指導の様子、自主性の育成）、2学年（修学旅行の準備、生徒一人ひとりへの声かけ、行事ごとの振り返りに重点）、1学年（学校生活へ順応、話し合いを基調とした指導、クラスを解体して総合学習、自分の変化を振り返る活動、人間関係の小さなトラブル克服が苦手）、将来構想検討委員会（会議の定期開催、教育課程の検討）
- 3 教科書採択、、資料

協議内容・承認事項等（意見の概要）

主な協議内容

- ・プリント使用した学習では記入に集中する姿、中学校と共通と感じた
- ・自分で判断・決定する能力がまだ育っていない。アイデンティティが未確立。社会への貢献を考える上で課題
- ・英語を話すくろーばぁ生徒との共同授業は日本語を第一言語とする生徒にとって効果的
- ・調査書の形態はより学習ログとしての機能を重点化したものになっていくのでは
- ・外国にルーツのある生徒と日本語を第1言語とする生徒とをつなぐ取り組みがうまくなされている。外国にルーツのある生徒が増が日本で暮らしてきた生徒にとってプラスになる取り組みの推進を期待。卒業生の就労状況を発信してほしい。
- ・デジタル採点・返却の進展について、相当進んでいる。
- ・超過勤務が一部の教員に集中していることについて、、、クラブの主顧問を調整。デジタル採点の推進を業務改革に活かしたい。

令和 7年1月22日 (水) 15 : 00開始